

伊豆冷川(ひえかわ)峠サイクリング



朝の通勤ラッシュを避け、早い時間に輪行しようと言うことで、8時にスタート地点の三島駅に集合。今日は、ここ三島から南下、大仁、修善寺を経由し、冷川(ひえかわ)峠、伊東駅までの45Kmである。修善寺までは、ほぼ平坦、修善寺からは、およそ13Kmで300mの登りで、そうキツクはない。

このコースはO寺さんが計画を立ててくれたが、4月のクラブランにも予定されており、担当を承るN沼はその下見も兼ねている。

組み立てと軽い朝食を済ませ、9:00 三島駅を出発。三島駅から直ぐ近くの三嶋大社を目指す。ここは今年(H23)の正月4日、O湖さんと箱根から富士宮への焼きそばツーリングの際、素通りしたところである。その時は、正月の参拝客や露店の屋台などで、かなりの賑わいであったが、今日は、ひっそりとしており、神官が掃除する竹箒の音が清々しい。



三嶋大社から30分ほど南へ下ると、狩野川の堤に至る。ここからしばらく堤防上の道を行く。背にした富士山の眺めが素晴らしい。



石堂橋を渡り、狩野川の流れと別れ、伊豆箱根鉄道に沿って伊豆長岡、大仁方面へ向かう。O 寺さんが練ったコースであるので、幹線道路は最小限、安全で、のどかな道のりである。3両編成の電車が伊豆の穏やかな日差しの中、まるで箱庭の様である。三島から2時間ほどで修善寺に到着。



修善寺からは狩野川の支流、大見川沿いの山裾の道を辿る。

柳瀬から道は国土越え方面と伊豆スカイライン、冷川峠を経由して伊東方面に分かれる。今回は伊東方面であるが、ここから国土越にかけては谷筋にワサビ田が点在し、旅番組や映画のロケによく登場する場所らしい。冷川峠への県道59号線は、別ルートの伊豆スカイラインがあるためか、交通量も少ない。辺りは伊豆の山里の風情を色濃く残している。木を切り倒した後の広大な山肌に、冬の陽にススキの穂波が光る。



修善寺から2時間、13:00 冷川峠(362m)到着。峠は切り通しになっており、石積みに生えた緑の苔に囲まれている。峠の標識を背に記念撮影の後、道脇の日向を見つけ昼食を摂る。



峠から伊東市街へは急なワインディングロードとなっている。冷川峠へは、やはり修善寺側からの方が楽そうである。下りは速く、30分弱で伊東市街に入る。

峠は切り通しで、眺めの良い広い場所は無い。4月のクラブランでは、スタート時間を遅らせ、仮の昼食を狩野川の堤辺りで軽くすませ、本番の昼食は、伊東市街で海鮮丼か何かが良いのかも知れない。また、狩野川からの富士の眺めが素晴らしいことから、スタートを沼津とする案もありそうである。

4月のクラブラン本番に向けて良い計画を作って行きたいと思います。